

カフェで児童に 学習手ほどき

焼津学生団体が寺子屋

「自ら学ぶ機会大切に」

学校の成績や周囲の意見だけにとらわれず、自ら学ぶ機会を大切にしたい。学生たちは寺子屋にそんな思いを込め

た。地域で子どもの見守り活動を行う男性(64)が団体の取り組みに共感し、家族が経営する喫茶店を営業時間終了後、寺

県内のカフェで無料の寺子屋を開き、子どもたちの学びを支援する学生団体「Cafe de (カフェ・デ) 寺子屋」が24日、焼津市内の喫茶店で初めての活動に取り組んだ。静岡大や県立大の学生が地元の児童ら9人に学習の手ほどきをした。



閉店後の喫茶店で学生と一緒に勉強に取り組む児童

|| 焼津市内

子屋スペースとして開放した。児童らは持参した漢字ドリルや計算プリント、魚図鑑などで自習を進めた。つまずいた子どもがいると、学生たちがヒントを与えて解決に導いた。学生は学習を終えた子どもと折り紙やスケッチを楽しむなど、幅広い学びをサポートした。

静岡大2年の稲垣麻衣さん(20)は「寺子屋を子どもたちが安心できる居場所にしていきたい」と話した。同団体は今後、静岡市や浜松市などでも順次寺子屋を開く予定。問い合わせは同団体のメール<info@cafe-de-terakoya.jp>

(社会部・大石真聖)